

愛する故郷 小笠原



令和6年3月 文責：校長 佐野紳二

先寒暖の差が激しい日が続いていますが、校庭の桜のつぼみも少しずつ膨らみははじめ、春の訪れを感じています。小笠原小学校の3月の様子を紹介します。

第150回卒業証書授与式

3月19日(火)、南アルプス市教育委員・教育長職務代理者 渡邊正義様をはじめ多数の来賓の皆様のご臨席を賜り、小笠原小学校の第150回卒業証書授与式を挙行了いたしました。式は証書授与を中心とする第1部と卒業生の呼びかけ・合唱を中心とする第2部の2部構成とし、第2部では卒業生が今年1年間の思い出とお世話になった人への感謝の言葉、未来への決意をしっかりと語ってくれました。とても素晴らしい、立派な卒業式になったと感じています。

卒業生が入学してから6年間、地域の皆様には登下校時の見守りや地域での学習等へのご協力、学校の環境整備等、さまざまな面で子どもたちの学びを支えていただき、誠にありがとうございました。これからもさまざまな面で子どもたちの成長を温かく見守っていただけますよう、お願いいたします。



新1年生を迎える準備（1年生 図工）



新1年生の教室をきれいに飾るために、花や鎖をたくさん作りました。

友だちハウス（2年生 図工）



空き箱を使って、友だちを招待したいおうちをつくりました。

いいとこいっぱい3年生（3年生 国語）



2年生に向けて、「3年生になるとこんなことがあるよ。」と発表しました。

タグラグビー（4年生 体育）



タックルの代わりにタグを取り合うラグビーです。寒い中でもみんな元気です。

小笠原流礼法（5年生 道徳）



今年度最後の小笠原流礼法の授業では、戸の開け閉めについて教えていただきました。

愛校作業（6年生）



6年間お世話になった学校をきれいにしようと、6年生が普段なかなか掃除が行き届かない場所をきれいにしてくれました。

6年生を送る会



1日、今年1年間、全校の先頭に立ってがんばってきてくれた6年生に、下級生の「ありがとう」と「これからもがんばってね」の気持ちを伝えるために、6年生を送る会が行われました。

全体会では6年生一人一人の紹介や各学年の発表、思い出のスライド、全校合唱が行われ、全校で6年生への感謝と激励を伝えました。昼休みに行われたたてわり班ごとの活動では、最後のたてわり遊びと下級生からのメッセージカードのプレゼントがありました。どちらの会も5年生が中心となり、立派に会を進めてくれました。

今年も1年間、学校だより「愛する故郷 小笠原」にお付き合いいただき、ありがとうございました。この学校だよりが、本校の教育活動を地域の皆様に知っていただく一助となっていれば幸いです。

今年度は長い間続いてきた新型コロナウイルスによる行動制限も緩和され、学校評議員の皆様を中心に学校教育のようすを見ていただくことができました。来年度はさらに多くの地域の皆様に、学校に足を運んでいただける機会をつくりたいと考えています。これからも小笠原小学校の子どもたちを見守り、さまざまな場面でご指導いただけますよう、お願いいたします。
(小笠原小 校長・佐野)